

派遣留学体験報告書（オンライン留学）

参加年度（出発年度）	2020年度
オンライン留学先国	リトアニア
オンライン留学先大学	ヴィータウタス・マグナス大学
プログラム開始日	2021年1月25日
プログラム終了日	2021年6月8日
今回の留学にかかった費用	1万円
留学の目的とその達成度合	日本でリトアニア語を勉強出来る機会は少ないため、オンラインであっても現地の授業を履修する価値はあると思います。参加した。授業では文法が丁寧に解説され、分詞など一部の文法事項はよく身についたと感じる。会話の練習ができた点も良かった。
留学を通して得たもの（スキル、経験）	リトアニア語、ロシア語の能力を伸ばせた。どちらの言語も、外大ではあまり会話を練習する機会がなかったため、会話の機会が多く得られて良かった。オンラインではあったが様々な国籍のクラスメイトと交流できたのも楽しかった。
留学先大学への支払い方法	-
履修した科目	「リトアニア語B1」、「ロシア語B1」、「リトアニアのフォークロア・伝統・神話」
授業内容	授業にはMicrosoft Teamsを使用した。☒ 「リトアニア語B1」…前半に会話の練習、後半に文法の解説や問題演習を行なった。☒ 「ロシア語B1」…問題演習、プレゼン発表、映画鑑賞など。先生との雑談の時間も多く、会話を苦勞した。☒ 「リトアニアのフォークロア・伝統・神話」…講義形式で、年中行事や神話など毎回異なるテーマの講義を聞いた。
授業の開講時間および現地時間との時差	時差は7時間で、3月からはサマータイムが導入され時差6時間になった。☒ サマータイム導入前には0:00~1:30の授業があり少し眠かった。
外大の授業との両立について	留学先の授業を優先したかったため、外大の授業は2コマしか取っていなかったが、もう少し履修しても良かったと感じる。
授業内容やプログラム全体に対する感想	内容には満足しているが、もう少し授業を受けたかった。通年でオンライン授業を受ければ良かったと感じる。
現地学生や他国からの留学生とのオンライン交流について	日本語、日本文化、日本食、日本の遊び・サブカルチャーなどを紹介したり披露する機会があった
交流活動の具体的内容	ロシア語の授業で地元を紹介するプレゼンを作ったり、日本の音楽を紹介する機会があった。リトアニア語の授業でも日本の食文化・国歌・サブカルチャーなどについて尋ねられることがあった。
プログラムに対する満足度 (10段階：低1～高10)	9
その他（参加前に準備すべきこと、直面した課題、全般的な感想）	-
今後の予定について教えてください。	派遣（交換）留学プログラム終了
「その他」を選択した場合、今後の具体的な予定を記入してください。	-
今後オンライン留学する学生へのアドバイスなど	-